

小館誓治 研究者

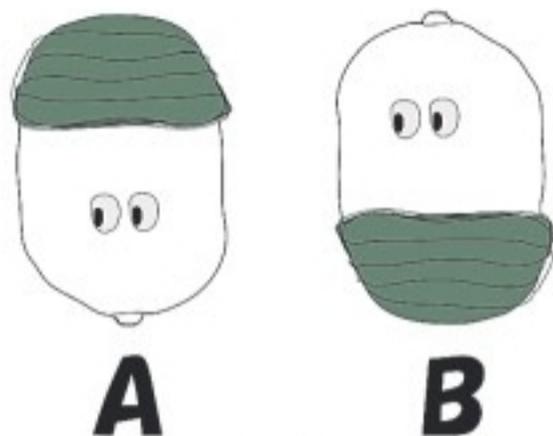


ドングリを知らないという人はほとんどいないと思います。実際にドングリを拾ったことがあるかどうかをアンケートで聞くと、子どもから大人まで、9割以上の人が拾った経験があると答えてくれます。

ひとはくは、県の環境政策課と協力して、県内の幼稚園や保育所、こども園などを訪問し、園児や先生に「しぜん たいけん」という昆虫や植物などの生き物に触れ合うプログラムや研修などを実施しています。

ひとはく 研究者 だより

ドングリの帽子



(図1) ドングリの2種類の絵

ツツで検索してみてください(い)。その事業で園を訪問した時、先生にアンケートを実施して、ドングリと、ドングリの一部や全体を包み込むような殻斗について質問してみました。すると多くの先生が殻斗のことを「帽子」と呼んでいました。また2種類の絵(図1)を見せて、どちらの絵をよく見ますかと聞くと、殻斗を上にしてドングリを下にした絵(図1のA)をよく見ると多くの先生が答えてくれました。

私は園などでドングリの話をするときに、殻斗を指さして「これを何と呼びますか?」と聞くようにしています。皆さんに「帽子」と言ってもらった後、「私も言います。ドングリの各部位を人の身体の部分のような名前(くび、かた、どうなど)で呼ぶことがあります(図2)。枝に付いているときに殻斗とつながっている部分を「しり・へそ」と言います。したがって殻斗は、ドングリの「しり・へそ」を隠しているものです。



(図2) ドングリの各部の名称

そこで園児たちに「帽子は頭にかぶるもの、それではおしりやおへそを隠しているものは、なに?」と聞くと、高い確率で「パンツ」と答えてくれます。「じゃあ、今日はこれをパンツと呼ぼうね」と話します。このような話をする事で、より興味・関心を持ち、他の人にも話をしてくれるようになります。「帽子と呼ばないで運動」を今後も続けていきます。

尻とへそを隠しています